

2013年度 立教SFR大学院生研究 採択者一覧 2013年6月7日

単位：千円

採択番号	申請番号	組織	専攻	課程	研究代表者	指導教授	課題名	申請金額	
1	2	個人	日本文学	D	5	Bjoerk Tove	水谷 隆之	享保期における歌舞伎の発展—二代目市川團十郎の日記をもとに—	200
2	3	個人	日本文学	D	5	滝上 裕子	林 淑美	昭和初年における小説と文芸批評の射程—小林秀雄の初期創作を通じて—	200
3	5	個人	英米文学	D	2	朝倉 さやか	藤巻 明	ロバート・フロストとニューイングランド社会の関係性	200
4	6	個人	英米文学	D	3	横山 晃	舌津 智之	1930年代におけるヘミングウェイの男性性と南北戦争	200
5	7	個人	英米文学	D	4	小笠原 清香	菊池 清明	強意副詞の脱語彙化とその後の展開：強意から迅速への意味変化	200
6	9	個人	フランス文学	D	6	河野 美奈子	小倉 和子	マルグリット・デュラスにおける仏領インドシナ	200
7	11	個人	史学	D	3	田村 俊行	青木 康	ロックホスピタルにおける医師・患者関係と医療実践	200
8	12	個人	史学	D	4	安田 千恵美	後藤 雅知	近世女性をめぐる書物・メディアの「教育」的機能について	200
9	15	個人	教育学	M	2	西山 溪	河野 哲也	熟議民主主義における「子どもの哲学」の貢献可能性の理論的・実証的研究	200
10	16	個人	教育学	M	2	井筒 優菜	北澤 毅	大津いじめ自殺事件の社会構築主義アプローチによる研究	200
11	18	個人	教育学	D	2	水谷 智彦	有本 真紀	教師の処罰権力形成の歴史—規則適用の裁量権および規則制定権の付与過程	200
12	19	個人	教育学	D	2	蓮見 絵里	石黒 広昭	ジャズピアニストの発達過程の研究—音と音への意味づけを手がかりとして—	200
13	20	個人	教育学	D	3	田中 里佳	前田 一男	教師における変容的学習Transformative Learningの研究	200
14	21	個人	比較文明学	M	2	佐藤 裕亮	片上 平二郎	メディア技術における「幽霊」について	200
15	23	個人	経済学	D	2	道満 治彦	アンドリュー デウィット	カナダ・オンタリオ州における再生可能エネルギーの固定価格買取制度の現状と政策過程	200
16	24	個人	社会学	M	2	梶原 はづき	木下 康仁	災害時における人と動物—ゆらぐ援助の枠組みとこれから—	200
17	25	個人	社会学	M	2	廣本 由香	関 礼子	福島第一原発事故の放射能汚染をめぐる母子避難に関する社会学的研究	200
18	27	個人	社会学	D	5	岸下 卓史	阿部 珠理	メキシコ市ミルバ・アルタ地域の祝祭fiesta文化の研究	200
19	28	個人	法学政治学	D	1	乙幡 翔太郎	川崎 修	エドモンド・パークにおけるインド問題—なぜインドに「法の支配」を見出しえたのか—	200
20	29	個人	法学政治学	D	2	長 史隆	佐々木 卓也	米中接近後の日米関係——日本の日米安保認識の変化を中心に	200
21	30	個人	観光学	D	3	李 彰美	橋本 俊哉	韓国ヘルスツーリズムにおける健康・美容に関する認識・健康・美容関連行動の歴史的考察を中心として—	200
22	31	個人	コミュニティ 福祉学	M	1	松村 健	石渡 貴之	生活環境と生活リズムに対して運動の及ぼす影響を脳内神経伝達物質の視点から明らかにする。	200
23	32	個人	コミュニティ 福祉学	M	2	鈴木 航太	石渡 貴之	隔離飼育・集団飼育環境下におけるラットのモノアミン作動性神経伝達物質の比較	200
24	33	個人	コミュニティ 福祉学	D	2	小林 哲也	森本 佳樹	生活構造が介護保険制度に与える影響についての分析	200
25	34	個人	コミュニティ 福祉学	D	2	星野 友里	森本 佳樹	全国グループリビングの運営状況およびグループリビング住人の合意形成に関する研究	200
26	35	個人	心理学	D	1	千葉 元気	都築 誉史	多属性多肢選択意思決定における解釈レベル理論と二重過程理論に関する実験的検討	200
27	37	個人	心理学	D	2	齋藤 正樹	大石 幸二	行動経済学的視座から個人差を同定するための探索的研究—片づけの自己管理—	200
28	38	個人	臨床心理学	M	2	竹森 亜美	大石 幸二	小学校と連携した書字困難の早期把握にむけたスクリーニング—運動調節に焦点をあてて	200
29	39	個人	臨床心理学	M	2	吉田 彩翔	逸見 敏郎	乳児を持つ母親が求めるソーシャルサポートニーズ～第一子出産後の縦断的調査研究～	182
30	41	個人	映像身体学	D	1	根本 裕道	宇野 邦一	音の知覚におけるノイズの創造性に関する哲学的考察	200
31	44	個人	経営学	D	1	久保田 佳枝	石川 淳	職場適応における異文化適応力の有効性の検討1：組織における文化の境界	200
32	45	個人	経営学	D	2	徐 毅菁	石川 淳	組織公正：個人の組織行動に与える影響	200

2013年度 立教SFR大学院生研究 採択者一覧 2013年6月7日

単位：千円

採択番号	申請番号	組織	専攻	課程	研究代表者	指導教授	課題名	申請金額	
33	46	個人	ビジネスデザイン	M	2	羽根田 里志	宮下 篤志	スタートアップ企業における持続的競争優位戦略に関する考察	200
34	48	個人	ビジネスデザイン	M	2	野澤 美加	江口 圭一	看護師の離職抑制に関する研究：マグネットホスピタルの視点からの検討	200
35	49	個人	ビジネスデザイン	M	2	齋藤 香織	黒木 龍三	ワークシェアリングによる人的資本の形成について	200
36	50	個人	ビジネスデザイン	D	1	番匠 謙太	青淵 正幸	会計の国際化と中小企業の会計	200
37	51	個人	ビジネスデザイン	D	1	渡辺 智信	青淵 正幸	固定資産の減損処理に関する日米比較と企業の投資意思決定	200
38	52	個人	ビジネスデザイン	D	2	松田 友美	廣江 彰	専門職における顧客満足構成要素の究明～歯科医院の医療サービスを事例として～	200
39	53	個人	ビジネスデザイン	D	2	馬場 正実	高岡 美佳	ファッション業界におけるイノベーター理論に基づくビジネスモデルの比較研究	200
40	54	個人	比較組織ネットワーク学	M	2	水上 詩音	内山 節	世界に輸出されているストリートファッションの起源と現在	200
41	55	個人	比較組織ネットワーク学	D	2	杉原 学	内山 節	近代日本における時間意識の変化とその影響に関する研究	200
42	56	個人	比較組織ネットワーク学	D	3	谷口 起代	内山 節	東日本大震災被災者および避難者の孤立化を防ぐコーディネーション事例研究	200
43	57	個人	比較組織ネットワーク学	D	4	佐野 敦子	長 有紀枝	ドイツ移民理論の応用可能性の追求	200
44	58	個人	異文化コミュニケーション	M	1	合崎 京子	灘光 洋子	発達障がい者の会話時における、「特徴」の共通性	169
45	59	個人	異文化コミュニケーション	M	2	瀧戸 彩花	中谷 一	カバー音楽から見る現代の音楽アーティスト像の変容	195
46	60	個人	異文化コミュニケーション	M	2	荻原 まき	小山 亘	「台湾現住民族が語る記憶の中の日本語—ダイクシスに注目して—」	173
47	61	個人	異文化コミュニケーション	D	3	富田 俊幸	阿部 治	学校教育におけるESDの普及と推進に関する研究—ESDとSTSの比較研究を通して—	200
48	62	個人	異文化コミュニケーション	D	5	永井 那和	小山 亘	コミュニケーションを基点としたクリエイティビティ研究の理論的・方法的考察	200
49	63	個人	キリスト教学	D	1	國友 淑弘	佐藤 研	ゴスペルの由来・本質・機能—その歴史的誕生の経緯と現代における役割について—	200
50	64	個人	キリスト教学	D	2	大野 剛	竹原 創一	賀川豊彦の協同組合論——キリスト教社会経済思想を検証し、新時代の生き方を探る——	200
51	65	個人	数学	D	2	柴田 和樹	大杉 英史	中心対称配置とマトロイドに付随するトーリックイデアルの研究	500
52	66	個人	化学	M	1	石坪 江梨花	常盤 広明	食品起源による新規抗ウイルス感染症治療薬の合理的設計開発に関する理化学的研究	500
53	67	共同	物理学	M	2	田中 佐季	村田 次郎	時空の歪みを利用した原子核近傍の強い重力場の探索	500
54	72	個人	生命理学	M	2	加藤 貴大	上田 恵介	スズメの孵化率に影響を与える要因の解明	500
55	74	個人	生命理学	D	3	田上 和美	花井 亮	枯草菌におけるリボソームの二量体化機構の解明	500

合計 55名【D:36名 M:19名】